



## 記事 1

## 「本の声」を聞こう

読売新聞の読書面で人気を集めた連載「現代×文芸名著60」の選者の一人、東大教授の阿部公彦さんに本を読む楽しみについて聞きました。

「現代×文芸名著60」は、2019年4月から2020年9月まで掲載された連載企画。現代日本文学の名作60冊を紹介した。阿部さんは、村上春樹さんや小川洋子さんなどのベテランから、村田沙耶香さんのような旬の作家まで、「まだ文学の歴史になっていない

作品をどうリスト化するか」が難しかった」と選考の苦労を振り返った。

読書の魅力について阿部さんは、「最近『役に立つ』ということがよく言われる。『役に立つ』と言う際は、『目的』がある。でも、小説はある目的のために読むのではなく、作品に

『出会った』こと自体のために読んでいます」と話す。「書かれる内容の多くも、知らない人物同士が出会う話だ」と語り、本がもたらす偶然の出会いの価値について強調した。



さらに、「読書とは、自分の心を静かにして本の声を聞くこと。本を読むことを重ねれば、実社会でも他人の声をじっくり聞けるようになると思う」と読書の効用を話した。「自分が

## 記事 2

## 生まれつき本嫌いな子はいない

「うちの子は本を読まない」。そんな悩みを持つ親は多いと思います。学習塾「花まる学習会」(本社・さいたま市)代表の高浜正伸さんに、本に親しむためのコツをうかがいました。

「6年生なのにまだそんな本を読んでもの?」「読み終わったの?」……ついつい、こんな言葉を投げかけていませんか?

親は子どものためと思って難しい本を薦めてしまいがちですが、押しつけは、子どもの読む気をそいでしまいます。生まれつき本が嫌いな子どもは一人もいません。本が嫌いになってしまふ環境があることが原因だと思っています。読書は学習のためではなく、それ自体に意味があるというのを忘れてはいけません。読書は楽しい時間であって、子どもたちは楽しさが根

底にあつてこそ結果的に学びを得られます。

親子で読書を楽しむ時間を作ることもおすすめです。家庭では、どんなに忙しくても、毎日5分だけでもいいのです。絵本の読み聞かせは幼少期だけではなく小学校高学年にも進めています。本を読む人と心の結びつきが生まれ、一緒に楽しい時間を過ごした経験は、本を好きになるきっかけになると信じています。



1 記事2は、主にどのような読者に向けて書かれた記事ですか。高浜さんが語りかけている相手は誰かを考え、適切なものを選びましょう。

- ① 小学6年生
- ② 小学校の先生
- ③ 小学生の子どもがいる親

③

「ついつい、こんな言葉を投げかけていませんか?」という語りかけから、小学生の子どもへの親向けの記事だと判断できます。ただ、みなさんが読んで興味深い内容ですね。

2 記事1で、阿部さんが話している読書の魅力は、何だと言えますか。記事の中から6文字で抜き出しましょう。「」や『』も1文字に数えます。

## 偶然の出会い

3 阿部さんの意見にA、高浜さんの意見にB、二人に共通する意見にCを書きましょう。

- ( C ) 読書は、目的があつてするものではなく、そのこと自体に価値がある。
- ( B ) 子どもに対する親の読書の押し付けは、子どもを本から遠ざける。
- ( A ) 読書に親しむと、他の人の意見にも耳を傾けることができるようになる。
- ( B ) 本の読み聞かせは、幼い子どもだけでなく、小学校高学年にも効果的である。

「作品『出会う』では字数が合いません。後ろに「本がもたらす偶然の出会いの価値について強調した」とあります。阿部さんは偶然の出会いに魅力を感じていることがわかります。

2人は「読書」を、何かの「役に立つ」とか「学習」のために行うものではないと話しています。阿部さんは「他人の声をじっくり聞けるようになると思う」とも話しています。

読んでみよう！

◆ミー太郎のおすすめ記事

## 小学生読書 月平均3.1冊

# 小学生読書量が3分の1に

30年間でTV視聴時間、6割に減

小学生の読書量は30年前の3分の1程度に減少しているとの調査結果を、学研教育総合研究所（東京）がまとめた。テレビを見る時間も6割に減っていた。同研究所では、代わりに動画の閲覧やゲームに時間を充てているケースが多いとみている。

調査は2019年8月、全国の小学生1200人（保護者付き添い）を対象にインターネット上で実施。30年前の1989年に行った同種の内容の調査と結果を比較した。19年調査では、1か月の

小学生の読書量とテレビの視聴時間

	1か月の平均読書量	1日のテレビ平均視聴時間
1年生	3.8冊	1時間16分
2年生	3.7冊	1時間13分
3年生	3.5冊	1時間18分
4年生	3.0冊	1時間16分
5年生	2.3冊	1時間13分
6年生	2.4冊	1時間12分

（学研教育総合研究所調べ）

学年別で最も多かったの

は、1年生の3・8冊。高学年になると塾通いなどが増えることもあって、読書量が減る傾向がみられ、最も少なかった5年生は2・3冊、6年生も2・4冊だった。テレビを見る時間も、1日あたり平均1時間15分で、30年前（平均2時間5分）より大幅に減った。学年間の差は比較的小さく、最長の3年生（平均1時間18分）と最短の6年生（平均1時間12分）で6分の差だった。

（2020年1月24日 読売新聞朝刊より）



あなたは、どれくらい本を読みますか。

学年が上がっていくと読む本の冊数が少なくなる傾向があるようです。



## 学習指導要領との対応表

読むこと		構造と内容の把握（ア）	精査・解釈（ウ）
設 問	1		○
	2	○	
	3		○